

【2023年度助産師職能委員交流会を開催しました】

開催日：令和5年9月30日（土）10：00～12：00

2023年度助産師職能委員交流会は「支部職能委員・推薦委員ができることをみんなで考える」をテーマに9月30日（土）に開催いたしました。アイスブレイクとした第1回のグループワークの後、日本看護協会東北地区助産師職能委員の大平貴子氏による講話「助産師職能委員ができること—日本看護協会の事業と好事例の共有—」を拝聴しました。産科混合病棟の現状とユニットマネジメント、タスクシフトと院内助産・助産師外来など、現在、日本看護協会で推進している事業とその背景にある現状を非常にわかりやすく説明いただきました。講話中に何度も「誰のために取り組むのか…」と話されました。常に妊産婦、新生児、女性など対象者を中心に考え、助産師としての役割を果していくこと、この原点に立ち戻りながらお話を伺うことができました。講話の後はグループワークとして「明日からできること」について話し合いました。院内助産での経験や混合病棟での他科患者受入基準などの好事例の共有とともに、「院内助産の定義をまずは周知したい」「日本看護協会が作成したガイドブックを参考に医師と相談したい」「産科病棟の混合化は助産師のやりがい削がれるが、あきらめず妊産婦への影響や助産師の困りごとを伝え続け、地道に改善につなげたい」「分娩介助例数が少なくアドバンス助産師を申請できないケースへの対応を岩手県看護協会とともに検討したい」「本日の講話を聞き、管理者とともに考えたい」などの多くの意見を交わしました。

岩手県内で助産師の専門性が発揮でき、母子をはじめとする対象者に良質の助産ケアを届けることができるよう、支部職能委員等、そして本部職能委員が顔の見える関係で協力・検討することの重要性を改めて実感する機会となりました。

